

卒業研究(空間デザインコース)

必修

開講年次：4年次通年

科目区分：演習

単 位：6単位

講義時間：90時間

■**科目のねらい**：卒業研究はデザイン学部のカリキュラム中で最大・最重要の科目であり、4年間の学部教育の集大成として位置づけられている。デザイン総合実習I・II・IIIをはじめ、空間デザインコース関連の展開科目・発展科目で培った建築計画、建築意匠、建築史、建築環境・設備計画、都市計画、都市景観・ランドスケープデザイン、環境保全学などから各自の研究テーマを具体的に設定する。また、個々の研究指導教員の指導を受けながら1年間考究を行い、論文及び作品としてまとめるとともに、その研究成果を学内で発表・展示する。研究では札幌市をはじめ、具体的な都市、地域、地区を対象とし、対象地の有する歴史・風土・経済社会環境・人的資源・文化・物理的要素等を詳細に把握して、空間の計画や設計の方針の基礎とする。

■**到達目標**：①空間デザインに係る研究課題を発見し、研究計画書を作成することができる
②研究計画書に基づき、研究を推進することができる
③研究の成果を論文および作品としてまとめ、発表することができる
④空間デザイナー、空間プランナーとしての素養や倫理観を持つことができる

■**担当教員**：【◎は科目責任者】

◎中原 宏・羽深 久夫・矢部 和夫・斉藤 雅也・片山 めぐみ・山田 良・金子 晋也

■**授業計画・内容**：

| | | | |
|------|------------------|------|----------------------|
| 第1回 | オリエンテーション・テーマの検討 | 第16回 | 分析 |
| 第2回 | テーマの検討 | 第17回 | 分析 |
| 第3回 | テーマの決定(研究企画書の作成) | 第18回 | 分析 |
| 第4回 | 文献資料収集 | 第19回 | 考察とまとめ(卒業論文の作成・作品制作) |
| 第5回 | 文献資料収集 | 第20回 | 考察とまとめ(卒業論文の作成・作品制作) |
| 第6回 | 予備調査 | 第21回 | 考察とまとめ(卒業論文の作成・作品制作) |
| 第7回 | 予備調査 | 第22回 | 考察とまとめ(卒業論文の作成・作品制作) |
| 第8回 | 分析 | 第23回 | 考察とまとめ(卒業論文の作成・作品制作) |
| 第9回 | 分析 | 第24回 | 考察とまとめ(卒業論文の作成・作品制作) |
| 第10回 | 仮説の設定と研究フローの見直し | 第25回 | 考察とまとめ(卒業論文の作成・作品制作) |
| 第11回 | 本調査 | 第26回 | 最終発表 |
| 第12回 | 本調査 | 第27回 | 図録制作 |
| 第13回 | 本調査 | 第28回 | 展示準備 |
| 第14回 | 分析 | 第29回 | 展示準備 |
| 第15回 | 中間発表会 | 第30回 | 展示 |

■**教科書**：なし

■**参考文献**：適宜紹介する。

■**成績評価基準と方法**：最終成果品の質(40%)はもとより、研究への取り組み態度(20%)、研究・制作を進めていくプロセス(10%)、期限内にまとめる計画性(10%)、最終発表会の内容(20%)により、総合的に評価する。

| 評価方法 | 到達目標 | | | 評価基準 | 評価割合(%) |
|--------------|-------|-------|-------|-------------|---------|
| | 到達目標① | 到達目標② | 到達目標③ | | |
| 定期試験 | | | | | |
| 小テスト・授業内レポート | | | | | |
| 授業態度 | ◎ | ○ | | 積極的な取り組み姿勢 | 20 |
| 発表 | ○ | ◎ | ○ | プレゼン能力と発表内容 | 20 |
| 課題・作品 | ○ | ◎ | ◎ | 論文・作品の充実度 | 40 |
| 出席 | | | | 2/3以上の出席 | 欠格条件 |
| その他 | ◎ | ○ | | プロセス・計画性 | 20 |

◎：より重視する ○：重視する 空欄：評価に加えず

■**関連科目**：デザイン総合実習I・II・III、学部連携演習、空間デザインコース関連展開科目・発展科目

■**その他(学生へのメッセージ・履修上の留意点)**：卒業研究は将来社会人として活躍するための訓練でもあります。これに真摯に取り組む、成就することにより、大きな達成感と自信を得ることができると同時に、人間力も高めることができます。